

保存・2023年4月改訂版

尼崎朝鮮初中級学校

防災マニュアル

(地震・津波災害)

2023年4月

※※本マニュアルは改訂が無い限りは、再配布いたしませんので大切に保管して下さい。※※

本マニュアルでは、地震・災害に関して、「事前(備える)～発生時(命を守る)～事後(立て直す)」の一連の流れの中で、①初期対応<園児・児童らが自ら行う安全確保行動+教職員が行う緊急対応(指示・救助・応急手当など)>、②二次対応<地震に関連して起こりうる災害(火災、津波など)>への対応を示し確認するものとする。

1. 事前(備える)

1) 体制

責任者	学校長
陣頭指揮	初・中教務主任
園児・児童指導及び避難誘導	各担任・授業時担当教員・部活運営時指導員・当番教員
通報連絡	教員室待機教員・事務員
初期消火	第一発見教員・教員室待機教員
救護	各担任・保健担当教員・教員室待機教員

2) 日常指導(年間防災・安全指導計画)

4月	学年度初のマニュアル確認(体制・分担・実行動など) 通学路確認・登下校指導(初級部集団登下校指導) 防災・避難マニュアル(フローチャート、警報発令時判断)の全家庭周知
5月	交通安全教室・校内避難訓練(地震・火災)
7月	夏休み前の事故防止教育
9月	学期初のマニュアル確認 通学路確認・登下校指導(初級部集団登下校指導)
10月	校内避難訓練(地震・津波)
12月	冬休み前の事故防止教育
1月	学期初のマニュアル確認 通学路確認・登下校指導(初級部集団登下校指導) 校内避難訓練(地震・火災)*不審者侵入
3月	年間総括 春休み前の事故防止教育

3) 携帯電話の常時携帯

◇教員らは、緊急地震速報に対応できるよう、授業中や各種活動指導中も原則、携帯電話(スマートフォン)を常時携帯しておく。(※授業中はマナーモード)

2. 発生時(命を守る)

*基本行動は、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所への避難

1) 初期対応

(1) 全校内(児童生徒・教職員)への周知

◇火災または緊急地震速報等の報知音を確認した教員が、速やかに校内放送をかける。

: [발언례]

긴급알림입니다. 긴급지진속보가 왔습니다. (○○에서 화재가 났습니다.) 교실에 있는 학생, 교직원들은 책상밑에 들어가 다리를 가지시오. 다른 교실에 있는 경우는 자세를 낮추고 머리를 보호하십시오. (학생들은 선생님의 지시에 따라 피난준비를 하시오. 선생님들은 피난경로를 따라 학생들을 운동장에 유도해주시십시오.) 운동장에 있는 학생들은 운동장 가운데 모이시오.

* 停電や電気系統の故障など、校内放送ができない場合を想定して、拡声器を各階に常備する。

(2) 地震動終息後の避難誘導

◇地震動終息後、指定避難場所へ誘導(校内放送・現場指導と校内確認)

① 校内放送

: [발언례]

알리겠습니다. 일단 지진은 멎었습니다. 전체 학생들은 선생님들의 지시를 받아 피난경로를 따라 운동장에 모이시오.

② 現場指導と校内確認

: 放送指示に従い(放送がない場合も)園児・児童を避難経路に沿って運動場へ誘導する。

* 避難誘導場所

- ・ 第1避難場所：大運動場
- ・ 第2避難場所：状況により指示(4階講堂, 屋上)

* 校内確認

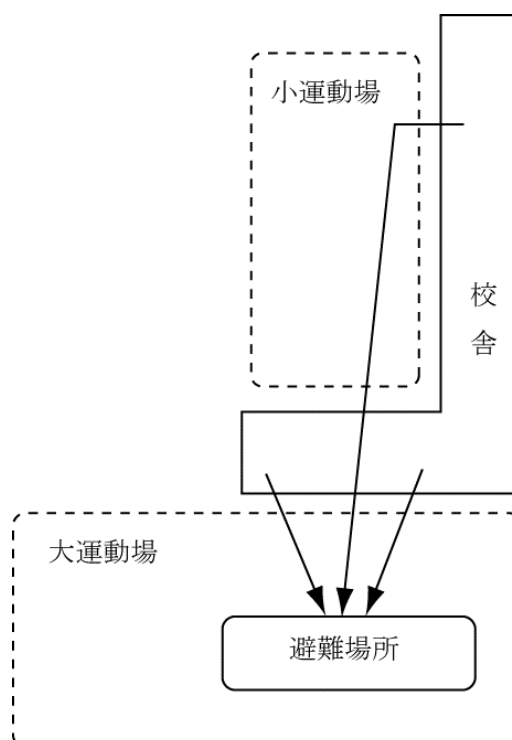
- ・ 発生時、ア)3階・イ)1階それぞれの職員室待機教員が、ア)4~3階、イ)2~1階別に、普通教室、特別教室、トイレに逃げ遅れた児童生徒がいないかなど確認、万一対象者がいた場合は避難誘導する。
- ・ 職員室待機教員は、職員室に備えてある屋上扉の鍵、4階講堂の鍵、救急箱、可能であれば保健室に備えてある救急用具一式、職員室用の「いざ!というとき必ず役立つ応急手当マニュアル」(株式会社保健同人社発刊)を持参し避難場所に集合する。

- ・職員室待機教員は、各学級の「緊急個人カード」と携帯電話保管箱を持参し避難場所
に集合、各担任に引き渡す。（職員室の出入口付近に常時保管しておく。）

*大運動場集合後は、速やかに人数、けが人の有無などの確認および報告をする。

◆避難時の心得

1. 園児・児童の身体の安全を第一に考える。
2. 速やかな行動をとらせる。
3. 口をむすばせ、おちつかせる。
4. 廊下、階段などで押し合いをさせない。
5. 集合を早くし、人数確認を急ぐ。



◆基本避難経路

地震発生時の居場所	経路	備考
幼稚班教室・お遊戯室	中央階段→大運動場	中央入口の解錠
講堂・中級部教室・多目的室	東階段→小運動場→大運動場	東入口の解錠
初級部教室・音楽室・PC教室	北階段→大運動場	北入口の解錠確認
理科室・保健室	小運動場→大運動場	東入口の解錠
小運動場・ロビー	→大運動場	
大運動場の中央へと		

(3) 応急手当

◇集合時、万一けがを負った児童生徒がいた場合、「いざ！というとき必ず役立つ応急手当マニュアル」（株式会社保健同人社発刊）に沿って応急手当を施す。

2) 二次対応

(1) 火災への対応

◇地震発生後、校内で火災が生じた場合、原則第1発見教員が消火活動に従事する。
（火災報知機により場所が特定された場合は、職員室待機教員が駆け付ける。）

◇状況に応じて、速やかに119番通報をする。

(2) 水害(津波・洪水)への警戒

◇地震発生後、水害警報が発令された場合は、校舎の被害状況を判断しながら、速やかに4階講堂に避難誘導する。(状況により、屋上に移動避難することを想定する。)

◇水害警報が発令し、運動場から4階講堂に避難誘導する場合の経路は、運動場に避難する場合の逆方向とする。但し、教務主任が講堂を解錠する。

3. 事後(立て直す)

◆大地震発生または大津波・津波警報発令時

	地震発生時	大津波・津波警報発令時
園児・児童・生徒 在宅中	<ul style="list-style-type: none"> 震度 5 弱以上の地震が発生した場合は、学校から連絡があるまで自宅または各地域避難場所に待機とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 警報が発令された場合は、保護者の責任で地域の鉄筋コンクリートの建物 3 階以上か高台の避難場所へ避難する。 警報が解除されても、校内及び通学路に浸水等の被害がないなど安全確認の上、登校の連絡をする。それまでは、避難場所での待機とする。
園児・児童・生徒 登下校中	<ul style="list-style-type: none"> 危険物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない安全な場所に一旦避難し揺れが収まったら、学校か自宅の近い方へ移動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の鉄筋コンクリートの建物 3 階以上か高台の避難場所へ避難する。 各自所持している携帯電話で保護者と連絡を取り、保護者は児童の状況を学校に伝える。 保護者をつながらない場合は、児童・生徒自身が直接学校に連絡し、自身の状況を伝え教員の指示を仰ぐ。
園児・児童・生徒 在校中	<ul style="list-style-type: none"> 震度 5 弱以上の地震が発生した場合は、引き渡しによる下校とする。(保護者の迎えがあるまで、学校に待機させる) *震度 4 以下の場合、異常がなければ授業を再開する。通学路の安全を確認の上、集団下校等、安全に配慮して下校する。 	<ul style="list-style-type: none"> 警報が発令された場合は、校舎の 3 階以上または一時避難場所へ避難し、園児・児童を保護する。 警報が解除されるまで、引き渡しは行わず、学校等で待機させる。 警報の発令中に迎えに来た保護者については、警報が解除されるまで、園児・児童とともに避難・待機する。

◇校舎の被害状況がひどく校舎内で待機が不可能な場合は、学校周辺の指定避難場所に速やかに引率、移動する。

* 学校近隣の「津波等一時避難場所」

◇関西労災病院[06-6416-1221] (収容人数 1,060 名／650m・徒歩 8 分)

◇大島小学校[06-6417-5721] (収容人数 2,700 名／750m・徒歩 9 分)

◇大庄北中学校[06-6417-8281] (収容人数 800 名／750m・徒歩 9 分)

◇フェスタ立花南館 5 階

・尼崎市立すこやかプラザ[06-6418-3463] (収容人数 600 名／850m・徒歩 10 分)

△スクールバスによる登校(下校)時の場合

◇バス乗車前(降車後)の児童らは家庭で待機しながら、バス(学校)からの連絡を待つ。

[震度 4 以下の場合] (*震度 3 以下の場合は、原則連絡しない。)

◇バス運行を一時停止し、情報収集・状況判断するが、原則平常運行する。

*震度 4 の場合は状況により連絡をするかどうかを判断します。

◇周辺の状況に応じては、震度 5 弱以上と同じ対応をする。

[震度 5 弱以上の場合]

◇バス運行を一旦完全停止し、周辺の被害状況・情報を収集する。

◇車掌当番教員は学校と即時連絡を取り車内及び周辺状況を報告、校長(教務主任)の判断・指示を仰ぐ。

◇指示に沿って車掌当番教員(担任など学校待機教員)が保護者に連絡し、道路等の安全が確認できた場合は運行を再開する。

* 保護者と連絡が取れた場合、普段の乗降場所へ送り保護者へ引き渡す。

* 保護者と連絡がとれない場合、降ろさずバスで学校に移動する。(学校で保護・待機)

◇学校到着後、保護者のお迎えがあるまで安全な場所(教室や講堂等)で待機させる。

担任(または指示を受けた教員)が保護者へ連絡をし、迎えに来た順に引き渡す。

◇道路が寸断されその後のバス運行および学校までの移動が難しいと判断された場合は、近隣の駐車場など安全な場所で待機する。

・車掌当番教員は学校と即時連絡を取り、車掌当番教員(担任など学校待機教員)が各家庭に事情を伝えた後に、バス待機場所まで迎えに来た家庭順に保護者に引き渡す。

◇交通が完全に麻痺しバスを少しも移動できない場合は、周辺の災害時避難場所に児童らを誘導・待機し、学校と連絡を取り、車掌当番教員(担任など学校待機教員)が保護者に連絡、引き渡す準備を整える。

***各バス用電話**

곰뽀스(銀ハイエース) : 070-6549-4637

취뽀스(チィバス) : 070-5349-8659

코끼리뽀스(コッキリバス) : 070-5660-7191

기린뽀스(黄ハイエース) : 070-5042-6874

토끼(伊丹バス) : 090-4276-6006

*各バスに保護者の携帯電話番号が記載された運行表を備える。(別紙)

[資料]

兵庫県は、南海トラフ巨大地震で津波が起きた場合、阪神尼崎駅周辺の浸水の深さが最大2メートルに達するとの独自想定を公表した。阪神間の尼崎、西宮、芦屋3市の浸水面積は国の想定との3.3倍、1,971ヘクタールとなった。

県によると、今回の想定では地震の規模を示すマグニチュードを東日本大震災波の9.1に設定した。(※2018年3月22日に更新された、兵庫県の地震・津波被害想定では、M9.0へ修正)

阪神間に到達する津波の最高水位は尼崎市の4メートル。主に尼崎市と西宮市の埋め立て地や川沿いで津波が堤防を越える。阪神尼崎駅付近では「逃げ遅れた人のほとんどが死亡する」とされる1~2メートル。国の想定では浸水しないとされていた。

県防災計画課によると、液状化による防潮堤の沈下や、河口幅30メートル未満の河川をさかのぼって流れ込む津波の影響など、国の想定になかった要素を反映させ、浸水想定が拡大した。

ただ、阪神間の住宅地で深さ3メートルを超える場所はなく、「3階以上の堅固な建物に避難することで命を守ることは可能」という。(出典：2013年12月24日付 朝日新聞電子版)

- ・尼崎市・伊丹市の一部で最大震度6強となるなど、強い揺れに襲われるとともに、沿岸部には約110分後に、最高津波水位約4mの津波が到来する。
- ・市街地が浸水し、夏の昼間12時に発災した場合には、3万人近くの死者が発生する。
- ・尼崎市、西宮市のゼロメートル地帯では、津波収束後も浸水が継続し長期湛水の恐れがあり、多数の住民が取り残される可能性がある。
- ・公共交通機関を利用して遠方から通勤・通学する人が多いことから、夏の正午頃に発災した場合には、尼崎市、西宮市を中心に約23万人の帰宅困難者が発生する。

※尼崎市における津波高、到達時間及び浸水面積は次のとおりです。

- ・最高津波水位 4.0メートル(国の想定：5メートル)
- ・最短到達時間 117分(国の想定：113分)
- ・浸水面積 981ヘクタール(国の想定：210ヘクタール)

震度と揺れ等の状況(概要)

0 **【震度0】**
人は揺れを感じない。

1 **【震度1】**
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

2 **【震度2】**
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

3 **【震度3】**
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

4 **【震度4】**

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

6弱 **【震度6弱】**

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

耐震性が高い 耐震性が低い

5弱 **【震度5弱】**

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

6強 **【震度6強】**

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

耐震性が高い 耐震性が低い

5強 **【震度5強】**

- 物につかまらないうち歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

7 **【震度7】**

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

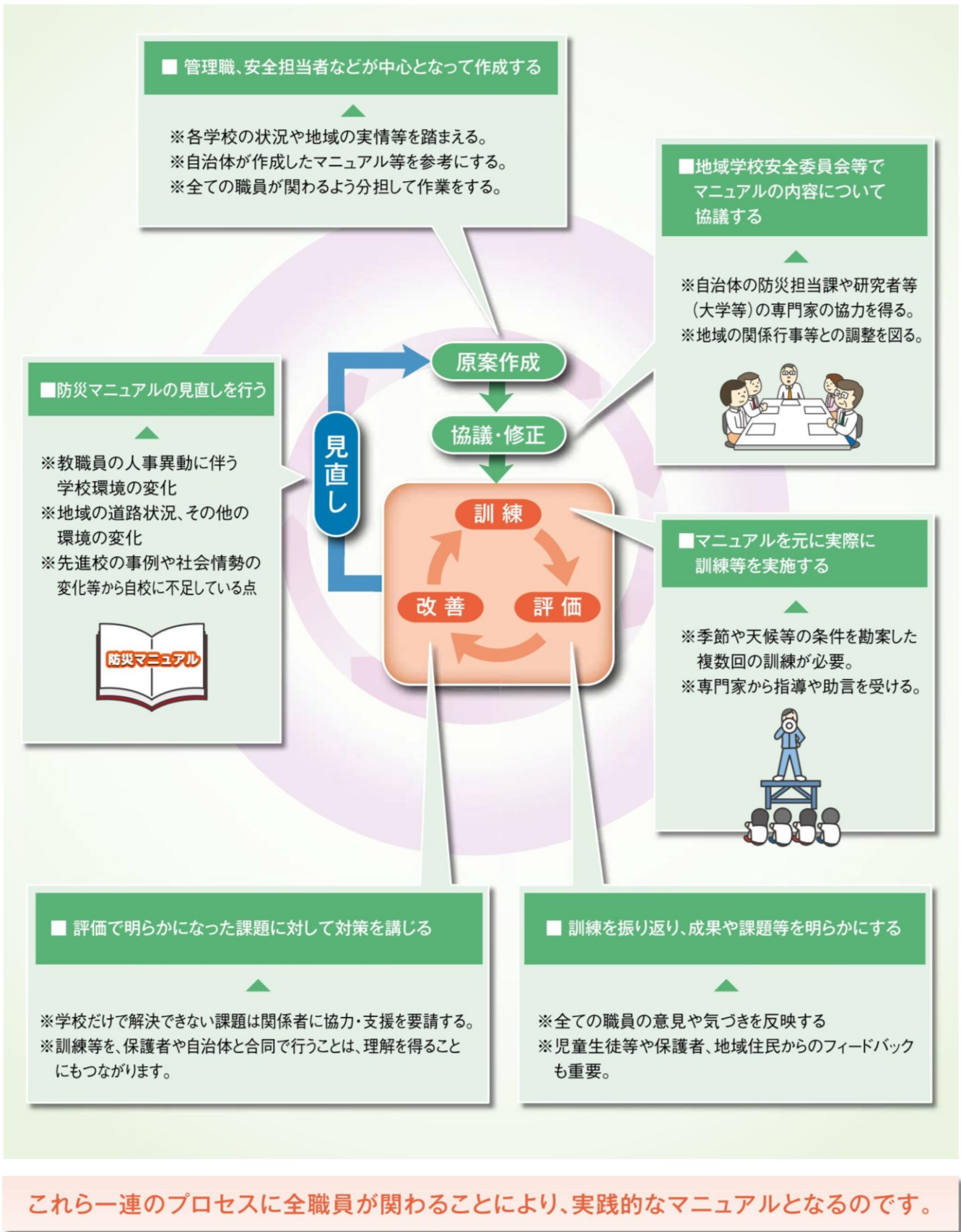
耐震性が高い 耐震性が低い

地震が起きたら **あわてず、まず身の安全を!!** **緊急地震速報を見聞きしたら**

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
- 運転中は、ハザードランプを点灯し、緩やかに減速
- あわてて外に飛び出さない(落下物や車が危険)
- 近づくな、門や扉、自動販売機やビルのそば
- 揺れがおさまってから、あわてず火の始末
- 海岸でぐらっときたら高台へ
- あわてた行動、けがのもと

家屋の耐震化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう!!

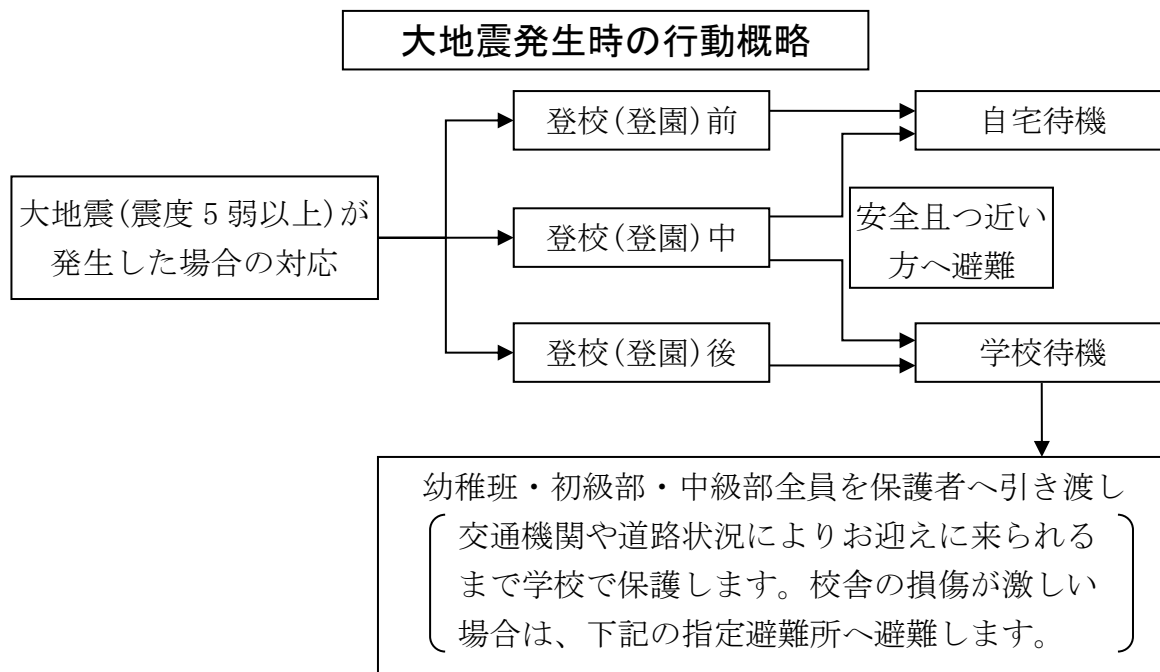
* 本マニュアルの実効性を高め、園児・児童のみならず教職員、避難してきた同胞や近隣住民の安全を担保し、地域の拠点学校としての役割を果たしていくために、下記フローチャートを徹底する。



* 文部科学省 『学校防災マニュアル(地震・津波災害) 作成の手引き』 より抜粋

尼崎朝鮮初中級学校 災害発生時の対処

* 気象警報発令時の対処については、4月6日に配布した「学年度はじめの重要事項のお知らせ」をご参照下さい。



施設名	住所	電話番号
尼崎市立大庄小学校	尼崎市大庄中通4丁目43	6417-3621
尼崎市立大島小学校	尼崎市稲葉荘2丁目10-7	6417-5721
尼崎市立浜田小学校	尼崎市浜田町3丁目110	6417-8331
尼崎市立大庄北中学校	尼崎市大庄北1丁目8-1	6417-8281
兵庫県立尼崎西高等学校	尼崎市大島2丁目34-1	6417-5021
関西労災病院	尼崎市稲葉荘3丁目1-69	6416-1221
尼崎市立すこやかプラザ	尼崎市七松町1丁目3-1	6418-3463

- ◆ 尼崎市内で震度 5 弱以上の地震(以下、大地震)を観測した場合、自動的に臨時休校・家庭待機とします。登校後ならば保護者のお迎え・引き渡しを基本とします。
- ◆ 尼崎市以外の学区内で大地震が発生した場合、その地区の園児・児童は自宅待機とし、交通機関や道路状況により休校措置を講じるかの判断を下します。
- ◆ 震度 5 強以上の場合は、翌日以降も休校措置を継続することがあり得ます。
- ◆ 登校後の場合で大地震が収まり余震発生回数が少なくても、自転車での下校は許可しません。保護者への引き渡しとします。引き渡しについては、交通機関や道路状況により、お迎えに来られるまでは学校で保護します。
- ◆ 震度 3 以下の場合は、原則的には平常通りとし連絡もしませんが、停電や交通麻痺などがある場合は、休校になることもあり得ます。
- ◆ 緊急時の連絡は、LINE 公式アカウントで届く連絡網を利用します。全家庭で、おひとり限定でご登録下さるようお願いいたします。詳細は、4月6日に配布した「学年度はじめの重要事項のお知らせ」をご参照下さい。より詳細な校内対応マニュアルは、本校 Web サイトに掲載します。

災害(大地震：震度5弱以上・水害)発生時における対応について(2021年4月6日改訂版)

①登校前	②登校中	③スクールバス内	④登校後	⑤校外活動時
<p>震度5弱以上の地震発生または津波・洪水警報発令時は自動的に休校とし、保護者の判断で、指定避難所などへ避難</p> <p>地震が起きたら慌てて外に出るのではなく、揺れが収まるまでは頭を守り、外の安全を確認する</p> <p>避難所などへ移動する場合は、ガスの元栓を止め、ブレーカーを落とす</p>	<p>各自、近隣の安全な場所へ自主避難</p> <ul style="list-style-type: none"> 『落ちてこない・倒れてこない・移動してこない』場所へ避難 近くの日本学校、公園など広場、指定避難所などへ避難 地震から身を守る4つの約束 <ul style="list-style-type: none"> カバンなどで頭を守る 高さのある物(壁や棚など)から離れる ガラスから離れる 揺れが収まってから行動する 	<p>車掌当番教員による初期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> バスは一旦完全停止・安全確認 児童たちは頭を守り前屈みの姿勢をとる 状況把握・情報収集 学校との連絡・判断指示確認 <p>保護者への連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況報告・協力要請 保護者への引渡し <ul style="list-style-type: none"> 普段の乗降場所(家前など) バスを一時停車させた場所 児童らを緊急避難させた場所 	<p>教職員による初期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内放送・拡声器放送 各教室(各場所)での安全確保 火災発生の有無などの確認 ガスの元栓を止め、すべてのドアを開放 <p>教職員による避難誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動場への避難誘導 <ul style="list-style-type: none"> 水害警報発令時は4階講堂もしくは屋上へ避難 人員確認・負傷者の応急手当 園児・児童の不安に対する対応 	<p>安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況把握と迅速的確な指示(見学施設の被害状況把握・避難経路・避難場所の確認・施設管理者等の指示) 電車・バス等交通機関に乗車中は係員の指示に従う 園児・児童の不安に対する対応 <p>近くの避難所へ避難</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所・救護施設がない場合、地域や関係機関等から情報を入手し的確な対応を行う 施設管理者等の指示に従う <p>避難後の安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員確認・負傷者の応急手当 園児・児童の不安に対する対応 沿岸部での津波・山間部での崖崩れ・落石に注意する 地元公的機関への救護要請 <p>学校への連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への連絡・状況報告を行い、指示を受け対応 学校から保護者へ連絡
<p>揺れが収まり次第、学校または自宅のうち安全かつ近い方へ避難</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者へ連絡後、学校へ連絡 自宅に戻った場合は、①登校前の行動 学校へ来た場合は、④登校後の行動 園児・児童の不安に対する対応 大地震発生に伴う水害警報発令時は解除されるまで校内待機(迎えに来た場合も解除されるまで待機) 警報解除後、引き渡し下校 	<p>保護者へ引き渡せなく運行を再開する場合は学校へ向かう</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内にて児童待機・安全保護 園児・児童の不安に対する対応 保護者への再連絡(状況報告・協力要請) 保護者への引渡し(迎え時に限る) 大地震発生に 伴う水害警報発令時は解除されるまで校内待機(迎えに来た場合も解除されるまで待機) 警報解除後、引き渡し下校 	<p>情報収集・確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎の損傷や火災の有無、水害発生の危険性などの確認 運動場で液状化現象が起きていないか確認し、校舎内か運動場の避難場所の選定 保護者への連絡・原則お迎えの協力依頼・引渡し 引き渡しについては、交通機関や道路状況により、お迎えに来られるまでは学校で保護・待機 	<p>避難後の安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員確認・負傷者の応急手当 園児・児童の不安に対する対応 沿岸部での津波・山間部での崖崩れ・落石に注意する 地元公的機関への救護要請 <p>学校への連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への連絡・状況報告を行い、指示を受け対応 学校から保護者へ連絡 	<p>安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況把握と迅速的確な指示(見学施設の被害状況把握・避難経路・避難場所の確認・施設管理者等の指示) 電車・バス等交通機関に乗車中は係員の指示に従う 園児・児童の不安に対する対応 <p>近くの避難所へ避難</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所・救護施設がない場合、地域や関係機関等から情報を入手し的確な対応を行う 施設管理者等の指示に従う <p>避難後の安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員確認・負傷者の応急手当 園児・児童の不安に対する対応 沿岸部での津波・山間部での崖崩れ・落石に注意する 地元公的機関への救護要請 <p>学校への連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への連絡・状況報告を行い、指示を受け対応 学校から保護者へ連絡
<p>水害警報が発令された場合は、校舎の損傷状況により地域災害時避難場所である、関西労災病院・大島小学校・大庄北中学校・フェスタ立花南館5階・尼崎市立すこやかプラザなどに避難するかを判断を下します。その場合、道路状況により、幼稚班・低学年は、スクールバスでの移動を検討し、高学年以上は教職員誘導の上、徒歩移動で避難後、保護者への連絡・原則お迎えの協力依頼・引渡しとします。</p> <p>学校に向かえないに来る場合、周辺道路の状況に注意しながら、車を運動場に乗り入れて下さい。園児・児童たちが運動場で避難・待機している場合があることを考慮し、待機場の10m以内には入らず、事故の無いように細心の注意をお願いします。</p> <p>高学年以上の児童・生徒と、徒歩での登下校の道中で地震が起こることを想定し、避難する場所を事前にお決め下さい。</p> <p>緊急時の連絡は、LINE@で届く連絡網を利用します。全家庭で、おひとり限り限定でご登録下さるようお願いいたします。</p> <p>【電話番号】 関西労災病院：06-6416-1221 / 大島小学校：06-6417-5721 / 大庄北中学校：06-6417-8281 / すこやかプラザ：06-6418-3463</p>				